

ふくしま 地域活動団体 サポートセンター News Letter

2012.vol.2

- ファンドレイジングは社会を変える
- “いま”を駆ける。地域活動者たち（活動団体紹介）
- Shake hands Fukushima～協働事業は進行中～
- チャレンジ！助成金情報
- 「お役立ち講座」開講のお知らせ
- 編集後記

ファンドレイジングは社会を変える

ファンドレイジングという言葉を知った方もいらっしゃるでしょう。「ファンドレイジング」を直訳すれば「資金調達」。NPOが活動する上で必要となる資金を集めることです。

また、「NPOのファンドレイジング」といった場合は、一般的には、NPOへの支援の意思が込められた寄付や会費、助成金といったNPOならではの資金の調達を意味します。

では、そもそも、ファンドレイジングとは何なのでしょう。NPOにとって、ファンドレイジングとは単に活動資金を集めることではなく、それを通じて社会的な課題を人々に知らせ、理解してもらい、その解決への参加者を増やして社会をよりよくしていくことではないでしょうか。寄付や会費を募る過程で、団体と人々がつながり、支援の輪が広がることで問題解決が促進するのです。

たとえば、途上国の飢餓の問題に取り組むNPOの場合、飢餓に苦しむ人たちに食糧を提供することが支援活動の柱です。しかし、本質的な課題の解決のためには、国際社会の構造変革であったり、環境問題の解決であったりするのかもしれない。時には途上国での支援事業と同じくらいの労力を

割いて、先進国の市民の理解者を増やすことが飢餓問題の解決に役立つということもあるでしょう。

また、寄付者にとっては寄付をすることは、自分自身が動いて社会を変えたり社会の必要性に応えられなくても、確実に自分に代わって行動してくれる誰かに思いを託すお金や品物だと言えます。寄付という行為による社会参加と自己実現は、人間が生れながらに持っている利他の精神をも満たして幸福感をもたらすものです。

このように、「ファンドレイジング」は資金を集める側と出す側をつなげることで、人々を幸せにして、社会をよりよく変えていくものだと考えています。

徳永 洋子

NPO法人 日本ファンドレイジング協会 事務局長
東京都出身。聖心女子大学卒業後、三菱商事に勤務。1998年から日本フィランソピー協会等で視覚障害者向け録音図書ネット配信事業に従事。2000年よりシーズ・市民活動を支える制度をつくる会で、おもにNPOのファンドレイジング向上事業に従事。そのプロジェクトの一環として、日本ファンドレイジング協会設立準備を担当。2009年2月、同協会設立と同時に同協会事務局次長となり、2012年6月より現職。



■ ファンドレイジング講座のご案内

講座
内容

- ◆ 資金調達の考え方
- ◆ NPOを取り巻く資金調達の現状
- ◆ 寄付と助成金のポイント
- ◆ 助成金獲得と助成事業成功のコツ
- ◆ 金融機関からの資金融資
- ◆ もっとある資金調達法

開催日時
会場

- 9月3日(月) [福島市] コラッセふくしま4階小会議室402
- 9月4日(火) [相馬市] 相馬市はまなす館 第3会議室
- 9月10日(月) [喜多方市] 喜多方プラザ文化センター 第2会議室
- 9月11日(火) [白河市] 白河市立図書館 中会議室

※講座時間はすべて《13:30～16:40》です。

講師

- 徳永洋子氏：NPO法人日本ファンドレイジング協会 事務局長
- 多賀俊二氏：全国NPOバンク連絡会 常任理事・事務局（9月3・4日）
- 花川泰雄氏：日本共助組合本部 事務局長（9月10・11日）

“いま”を駆ける。地域活動者たち

NPO法人 しらかわ市民活動支援会

白河市

平成15年11月から「マイタウン白河の施設管理」と「しらかわ市民活動支援センター」の運営をおこなってきた支援会。平成24年度から管理団体が変わったため、利用料金に工夫を重ねながら、自由度の高い市民の交流や活動拠点としての空間を支えています。

昨年の震災では建物に被害を受けて閉鎖を余儀なくされました。しかし、外遊びが制限された子どもを持つ親子が利用している「おひさまひろば」の利用者から「いつ開きますか」という多くの問い合わせを受けて、たくさんの改修の協力者により3月29日には再開し、そのスピード感のある対応は利用者からとても喜ばれました。

また、平成20年より白河厚生病院と連携し「病院ボランティア」の派遣を続けています。登録者30名、月曜日から土曜日まで常時1～2名が活動しています。先日、3名がボランティア活動100回を記録して病院から表彰を受けるなど、社会貢献の実績を残しています。

樋口菓子副理事長は「今後は連携を充実させるために、震災前におこなっていた「民・行の意見交換会」を再開したい」と、最後まで前向きな姿勢でお話してくれました。



▲樋口菓子 副理事長 (右)



▲しらかわ市民活動支援センター

「いま」を駆ける。地域活動者たち」では、福島県内で元気にとり組んでいる地域活動のようすをご紹介します。

NPO法人 まちづくりNPO新町なみえ

浪江町・二本松市

ことし5月に理事長に就任した神長倉豊隆理事長を訪ねたのは「なみえ焼きそば・杉乃家」とNPO法人コーヒータウンが運営する「カフェ」の2店舗が仲良く並んでいる、二本松市民交流センターです。この日は浪江町の交流会が和やかに開かれていました。

昨年、避難後の6月ごろ浪江町商工会の仲間たちと「浪江の絆の形成をどうするか」と話し合っていたところへ「二本松の夏祭りを一緒にやりましょう」と声をかけられ、これを機に活動がはじまりました。その後、平成24年1月にはNPO法人格を取得。新町なみえでは危機意識の共有をはかることもテーマに「絆」の形成事業を展開しています。

現在は浪江町と協働で交流会の開催や県外避難者との情報交換などにとり組んでいます。県外避難者からは「とにかく情報がほしい」という声が寄せられ、現地への訪問活動をおこなっています。現地では「地元の色が見えて、いやあ、ほっとした」と喜ばれています。神長倉理事長は「風評より怖いのは、風化すること。これらが大事」と表情を引き締めています。いま、自分たちの活動に必要なのは、安定した活動の拠点を設置すること。行政や他団体、そして大学も含めた連携、協働を大切にすすめたい」と語る神長倉理事長の視線の先に、これからも町民に寄り添っていく力強い覚悟がうかがえました。



▲神長倉豊隆 理事長



▲「なみえ絆交流会」前席に集まる皆さん

Shake hands Fukushima ～協働事業は進行中～

NPO法人 チャチャチャ21

「いっぶく処芭蕉さん」事業紹介 (事業名：須賀川まちなか観光・交流促進プロジェクト)

須賀川市は東日本大震災の被害により、観光交流課や観光協会の入る市役所本庁舎、市民活動サポートセンターの入る須賀川市総合福祉センター、更に、須賀川市芭蕉記念館2階の大広間2部屋と1階の茶室が利用不能となりました。

市内中心部で観光案内を行う公的施設が消えてしまったのと、多くの来訪者が訪れる「おくのほそ道」ゆかりの場所や寺社仏閣が地震の被害を被り、見る人の想いにマイナスの印象を残すだけの状況になってしまいました。

また、市民の交流スペース・文化活動の施設を失い、築き上げられてきた多くのコミュニティ活動が、存亡の危機へとさらされる懸念も生じてきました。

そこで、まちなか代替施設を開設し、市民および来訪者とのふれあい活動や、コミュニティスペースとしての活用を促し、まちなか観光と交流拡大に向けた各種事業を行うため、須賀川ふるさとガイドの会・すかがわ昔話の会・須賀川知る古会・俳句結社「桔梗吟社」、そして当法人の計5団体と、須賀川市観光交流課の参画を得て本事業をスタートさせました。施設の名称は「いっぶく処芭蕉さん」と名付けました。

事業内容は、①来訪者へのおもてなしと観光案内、②福島おくのほそ道の交流拠点と情報発信 ③市民ギャラリーとしての利

用と行政との協働は、復興へ向けて大きな力を発揮できると期待されています。現在おこなわれている「福島県地域づくり総合支援事業(地域協働モデル支援事業)」の活動のようすをお伝えします。

用、④句会等文芸活動の場に提供、⑤各種イベントに連動したまちなかへの人の誘導・交流促進・賑わい創出、⑥予約受付による市内観光案内などです。

7月14日(土)は須賀川市の夏の風物詩「きうり天王祭」が開催され、5万人の人数がありました。同日、すかがわ昔話の会による「きうり天王祭の民話会」、須賀川知る古会によるサテライトサロン「私たちの須賀川見つけ隊」「写真パネル展」を開催し、いっぶく処芭蕉さんも多くのお客様で賑わいました。(NPO法人チャチャチャ21 理事・事務局長 鈴木 明)



▲「私たちの須賀川見つけ隊」写真パネル展



▲きうり天王祭の民話会

いっぶく処芭蕉さん

- 住所 須賀川市本町3-5
- TEL 0248-72-2527
- 目印 大東銀行の向かい交流広場「結の辻」近く

チャレンジ! 助成金情報

項目			
A: 助成名称	B: 実施団体	C: 助成対象者	
D: 申込期限	E: 事業実施期間	F: 助成金上限	
G: 関連サイトのURL			

これからでも申し込みできる助成金情報です。内容は抜粋していますので、詳細は実施団体やホームページでご確認ください。

これからでも間に合う助成金情報

◆活動全般助成金

- A 地域づくり総合支援事業（サポート事業）
- B 福島県
- C 民間団体（一般枠）
- D ■県北:10/31まで随時■県南:8月中旬で募集終了■相双:二次募集9/28まで■いわき:9/20まで随時■上記以外は各地方振興局へお問い合わせください
- E 原則1年。最長3年間継続が認められる場合もある
- F 100万円～700万円。事業内容によって異なる
- G <http://www.cms.pref.fukushima.jp/>

- A ①社会変革事業助成プログラム
②ファンデイズ事業助成プログラム
- B NPO法人 チャリティ・プラットフォーム
- C 非営利団体。任意団体や団体設立を目指す個人も可
- D 通年
- E 1年間
- F 制限なし。前年度総支出額の10%までを目安とする
- G <http://www.charity-platform.com/to-npo/aid.html>

◆被災者支援・復興活動助成金

- A 2012年度国内助成プログラム「地域間連携助成」
- B 公益財団法人 トヨタ財団
- C 東日本大震災の被災地域や被災地域に居住地のある人々が避難する地域で活動する被災者中心の活動団体
- D 2012年8月1日～2012年9月12日
- E 2013年1月1日～2013年12月末日までの間
- F 1,000万円
- G <http://www.toyotafound.or.jp/>

- A フクシマススム ファンド
- B サントリーホールディングス株式会社 ほか2団体
- C 福島県、および福島県の県外避難者が居住している都道府県に活動拠点を持つNPO
- D 2012年8月1日～2012年9月15日（当日消印有効）
- E 2013年1月1日～2013年12月31日
- F 1団体あたり上限200万円、もしくは500万円
- G <http://fukushima-susumu.jp/>

- A 赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業
- B 中央共同募金会
- C 東日本大震災の被災者への救援・支援活動を行うボランティアグループ、NPO法人などの非営利団体
- D 2012年9月1日～2012年9月28日
- E 2011年3月11日以降の活動（活動が終了したもの也可）
- F ■短期（1ヶ月未満）の活動:上限50万円 ■中期（1ヶ月以上）の活動:上限300万円
- G <http://www.akaihane.or.jp/>

- A LUSH東日本大震災復興支援チャリティ
- B 株式会社 ラッシュジャパン
- C 東日本大震災の被災者支援および被災地復興支援活動の実績がある団体。法人格の有無は問わない
- D 毎月月末
- E 最長で1年間。継続支援も可能
- F 10万円～200万円
- G <http://www.lushjapan.com/ethical/charitybank/>

◆福祉活動助成金

- A 平成24年度（第19回）ボランティア活動助成
- B 公益財団法人 大和証券福祉財団
- C ボランティア活動を目的とした団体・グループ
- D 2012年8月1日～2012年9月15日（当日消印有効）
- E 2013年1月～2013年12月の活動
- F 1団体あたり30万円
- G <http://www.daiwa-grp.jp/dsf/index.html>

- A 平成24年度（第19回）ボランティア活動等に関する調査研究助成
- B 公益財団法人 大和証券福祉財団
- C 特に関わす。※研究委員会は組織すること
- D 2012年8月1日～2012年9月15日（当日消印有効）
- E 2013年1月～2013年12月の調査研究
- F 1団体あたり100万円
- G <http://www.daiwa-grp.jp/dsf/index.html>
- A 日本メイスン財団助成金
- B 一般財団法人 日本メイスン財団
- C 非営利法人、慈善団体
- D ・一般募集 2012年9月30日
・特別募集 緊急性の必要がある場合は随時受け付け
- E 2013年度
- F 200万円程度
- G <http://www.tma-japan.org/index.html>

◆環境保護活動助成金

- A イオン環境財団2012年度助成
- B 公益財団法人 イオン環境財団
- C 担当者が日本に在任し、「ゆうちょう銀行」の口座を有する非営利団体
- D 2012年9月10日必着
- E 2013年4月1日～2014年3月31日
- F 団体ごとに異なる（申請額・活動内容等を基に決定）
- G <http://www.aeon.info/ef/index.html>

◆文化活動助成金

- A 福島県文化振興基金助成事業
- B 財団法人 福島県文化振興基金
- C 団体・個人
- D 第3期2012年8月1日～10月31日。事業種別によって差異あり
- E 第3期2012年12月1日～2013年3月31日。事業種別によって差異あり
- F 上限5万円～1,050万円・助成割合1/3～4/5。事業種別によって異なる
- G <http://www.pref.fukushima.jp/>
- A 平成24年度・第22期助成募集〈地域文化の振興を指して〉
- B 財団法人 全国税理士共栄文化財団
- C 地域文化活動団体・個人
- D 平成24年10月末日（当日消印有効）
- E 伝統工芸技術分野以外は平成25年4月1日～平成26年3月31日まで
- F 1件につき原則上限50万円
- G <http://www.zenzeikyo.com/cata.html>

◆その他

- A TechSoup Japan（テックスープ）
- B NPO法人 日本NPOセンター
- C 法人格をもつ非営利団体
- D 特に規定なし
- E 特に規定なし
- F ソフトウェアを低料金で利用できる
- G <http://www.techsoupjapan.org/>
- A 第67回リユースPC寄贈プログラム
- B NPO法人 イーパーツ
- C 日本国内を拠点に非営利活動を行っている団体
- D 2012年8月6日～2012年9月6日
- E 特に規定なし
- F リユースPCの無償提供が受けられる
- G <http://www.e-parts.jp.org/>

◆活動に活かせる顕彰・表彰

A	未来を強くする子育てプロジェクト子育て支援活動の表彰
B	住友生命保険相互会社
C	日本国内でより良い子育て環境づくりに資する活動を行い、活動の公表を了承いただける個人・団体
D	2012年7月9日～9月14日必着
E	特に規定なし
F	表彰状および副賞（50万円・100万円）の進呈
G	http://www.sumitomolife.co.jp/child/
A	第6回かめり賞募集
B	公益財団法人 かめりの財団
C	5年以上活動しているNPO、ボランティアグループ、個人
D	2012年9月14日必着
E	特に規定なし
F	正賞の記念楯および副賞50万円の活動奨励金の進呈
G	http://www.kamenori.jp/index.html

A	第16回ボランティア・スピリット賞
B	ボランティア・スピリット賞事務局
C	ボランティア活動をしている個人またはグループ■個人の 場合：応募締切時に12歳以上18歳以下■グループの場合：構成メンバーが中高生
D	2012年9月18日必着
E	2011年4月以降に行われた活動
F	表彰と活動支援金の贈呈（賞によって異なる）
G	http://www.vspirit.jp/index_pc.html
A	第10回読売福祉文化賞
B	社会福祉法人 読売光と愛の事業団
C	社会福祉の各分野に貢献している団体や個人
D	2012年9月30日（当日消印有効）
E	特に規定なし
F	賞牌と活動支援金100万円の贈呈
G	http://www.yomiuri-hikari.or.jp/index.htm

**参加
無料**

「お役立ち講座」 開講のお知らせ

地域活動団体のスキルアップと支援をめざして、各講座を行っています。

いずれも受講無料ですので、お気軽にご参加ください。

●10月

開講

「もっと増やせる寄付金講座」

◆講座内容

Part I やわらかあたまで考える！

- ◆広い視点で支援を捉えよう
- ◆活動と寄付増進のためのIT活用

Part II 人をつなぐ“認定NPO”

- ◆認定NPOの制度と実際
- ◆支援者のために認定NPOになろう

◆講師

- 藪内 利明氏
株式会社コンピュータシステムハウス 社長
- 岩崎 徹氏
株式会社アイダ 社長
- 星野 珙二氏
認定NPO法人
ふくしまNPOネットワークセンター 理事長

※参加対象

NPO法人、ボランティア団体、公益法人、社会福祉法人、
学校法人、地縁組織、共同組合等の民間非営利組織の関係者

日付	会 場	開催地
10/13 (土)	コラッセふくしま 3階 小会議室302	福島市
10/14 (日)	喜多方市厚生会館 2階 第3研修室	喜多方市
10/17 (水)	郡山市市民交流プラザ ビッグアイ 7階 第3会議室	郡山市
10/18 (木)	相馬市はまなす館 第3会議室	相馬市

※講座時間はすべて「13:30～16:40」です。

今後の開講予定

- NPO会計講座
- マネジメント講座
- インターネット活用による情報公開講座

ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営受託：特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8043

福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL：024-521-7333

FAX：024-523-2741

E-Mail：saposen@f-npo.jp

U R L：http://www.f-npo.jp/saposen/



QRコードから携帯サイトを見ることができます。



編集後記

- さまざまな支援をうまく活用することも、活動を発展させる上手なマネジメントです。（哲）
- 三歩進んで二歩下がる。少しずつでも進んでいます！あせらず自分のペースで。（奈）
- 暑い夏だったのに～夏バテもせず太ってしまいました。ダイエットの秋になりそうです。（幹）
- オリンピック。ガンバリ姿には思わず応援したくなるものですね。（美）
- 「酷暑」は夏の季語。汗をかきながら夏をひひしと感じる毎日です。（奈）